

1、トゲソの小学校支援が続く・前期は24回支援(5月～7月)

◆ トゲソの会では、毎年、小学校6校で3年生から5年生の総合的学習の支援をしています。

今年は5月24日から7月19日までに24回の学校支援をしました。その中で7校が6月にかけて土堀のトゲソの里へ訪れてくれました。

土堀の生息地見学ではトゲソがどんな処に棲んでいるかを実際に見てもらい、湧水と関係が深いことを知ってもらいます。また、どばしっ清水を飲んでもらい「味」などの感想を記録します。

最後は、「ザリガニ」退治です。今年は7校合わせて何と899匹のザリガニを退治していただきました。

(▼各学校前期支援・5/24～7/19 24回)

小学校名	学習した日	回数
五泉小学校	5/28・6/13・6/24W	4回
五泉川東小学校	5/24・6/27	2回
五泉東小学校	5/27・6/8・6/22・7/8	4回
五泉村松小学校	5/26・6/16・6/23	3回
五泉愛宕小学校	6/16・6/29・7/5・7/12	4回
五泉南小学校	3年・6/9・6/21	2回
	4年・6/14・6/20W	3回
	5年・6/15・7/19	2回

※Wは2クラスで実施の意味



▲ 生息地へ学習訪問(愛宕小 6/29)



▲ 学校前の大田川調査(東小 7/8)

2、川東中校生徒さんが江ざらい作業を手伝い。感謝。(7月17日)



▲ 胴長靴を履いて泥上げに挑戦

猿和田地区のトゲソ生息水路の江浚い作業に地元の川東中学校の生徒さんと先生方が手伝ってくれました。

この応援は3年続きで支援を頂いているもので、大変助かりました。

7月17日、雨模様の中、校長先生を始めとして中学校生徒さん20人が応援に来てくれました。

トゲソの会では、地元の農家組合さんと一緒に猿和田地区の生息地水路のドロ浚いをしています。しかし年々、高齢化で作業が困難となっていました。

今年は、休日にもかかわらず大勢の女子生徒も手伝いに来てくれました。また活動の様子は新潟日報さん

の記事にも取り上げていただきました。これで、数少なくなっているトゲソの生息地を守ることができました。今後とも、このような支援が広がってくれることを願っています。

3、豊栄児童センターさんの川遊び支援(8月2日)★夏の川遊び第1弾

◆ 新潟市北区にある豊栄児童センターさんが今年も早出川に来てくれました。今年は8月2日にバスで「川遊び体験」に来られました。児童センターに通う小学生と保護者、職員スタッフの皆さん約50名でした。

準備体操後、ライフジャケットを着けて川流れの体験をしました。また、カジカ捕りをして楽しみました。子ども達はすぐに「カジカを捕ったぞー」と誇らしげな叫びを上げていました。

今年の昼食はカレーライスを皆で作るプログラムでした。川遊びの中では、カヤックを運び試乗してもらいました。天気は雨模様でしたが、大きな雨にならず楽しんでもらえました。



▲ 川流れ！ゆんわり～といい気持ち



▲ 川遊び終了後の「楽しかった」と記念撮影

4、今年も早出川清流スクールを開催(8月7日)★夏の川遊び第2弾

◇ 恒例の「夏の早出川清流スクール」が8月7日(日曜日)に開かれました。

天候不順で、今年はどうなるかな？と心配していましたが、幸いに晴天の日となりました。また、水質も7月に出水がありきれいでした。しかし、その後の晴れ続きで十分な水量がなく川流れを十分楽しむことができませんでした。その影響でしょうかカジカが少なく、物足りない面がありました。



▲ 早出川で親子カヌー体験をする



▼右写真↓カジカ捕り 救急救命講習
▼左写真↓カヌーの体験 川流れ体験

◆ 当日は、準備体操から始まりカヌーとカジカ捕りのグループに分けられました。参加者はスタッフ20名を入れて、130名余りと盛会となりました。

今年はお昼休みに五泉市消防署による「救急救命講習」が行われました。これは身近な水遊びで事故の際、慌てず対処を行うために学習をしました。五泉市女性消防団から丁寧な指導をしていただきました。ありがとうございました。

カヌー体験では、家族用の2人用カヌーも用意し家族で楽しんでもらいました。「カジカ捕り」では、タマ網を使って参加者は上手に捕ることを覚えました。

ご協力をいただいた地元カヌークラブと(特活)新潟水辺の会の皆さん、ありがとうございました。

5、善願橋下で夏休み親子探検隊(8月21日)★夏の川遊び第3弾



▲ 善願地区で魚とりとカヌーを楽しむ。

◆ 8月21日、早出川の善願橋下で生物多様性保全ネットワーク新潟さんと五泉トゲソの会の共催で「夏休み親子魚探検隊」が実施されました。

この善願地区の川探検は昨年引き続き開かれたもので、今年は水もきれいでカジカ捕りやボート遊びなど楽しく遊ぶことができました。

カジカ捕りでは、カジカに似たヌマチチブが多く捕獲されました。また、噂に聞いていましたが、コクチバスが二匹と北海道にしかないはずのフクドジョウが捕獲されました。

3合わせて、ふ化したばかりのウシガエルのオタマジャクシが大量に捕れ、早出川も例外なく外来種の侵略が始まっていることが確認されました。

最後には、それら多くの魚について多様性ネットの指導員から解説があり、早出川の生き物について学習を学ぶことができました。

この度は、予定以上の50名からの参加者があり、カヌーなど十分早出川の探検ができたと思います。

6、南区根岸地区、夏休み「水路のお魚調査」を支援 (8月27日)

◆ 8月27日、根岸地区保全会や白根郷土地改良区などの主催で、国道脇の排水機場で「夏休み体験・水路でのお魚調査」がありました。普段入れない水路に入り、生き物の調査を行いました。

トゲソの会より2名が指導者としてお手伝いさせていただきました。この事業は毎年行っているもので、地元の根岸小学校から子供たちが参加しました。当日はとれた魚は、名前や生態などが指導者から説明がされました。婚姻色のでたカネヒラやモクズガニ、ニゴイなどからクサガメなどが説明され、最後に水質調べをしました。

◆ また、「オオマリコケムシ」という生物がコンクリートの壁面にへばりついていました。初めて聞く名前でした。汚くなった池や沼などに生息を広げているアメリカからの外来生物です。とても、生き物には見えませんでした。個体は小さいのですが巨大な群体となるそうです。終わってから、公民館で昼食を食べ、捕れた生物の学習をしました。



▲お魚の捕獲後、水質を調べる。

7. 新江川で川東小学校の「トゲソの穂む川探検」を支援 (9月2日)



▲ 腰まで水につかりながら調べる。

◆ トゲソの会では各学校の支援を続けながら、トゲソの生息環境をチェックしています。今年も9月に入り川東小学校の児童と一緒に生息している川のトゲソの状況について調べました。コウホネの黄色い花が咲いている新江川で生き物調査をいたしました。

トゲソは、今年生まれた体長のサイズを含め無事育てておりました。CODは4、透視度は93cmときれいでした。スナヤツメ、タナゴ、ウグイ、シマドジョウなどが捕れました。生き物を調べた後、学校のビオトープに放しました。

今後の行事予

◎トゲソの新米(10月中旬) サトイモ(11月初旬)を発送します。

- ★10月2日(日) 生涯学習フェスティバル参加展示 五泉市総合会館 9時半～
- ★10月23日(日) トゲソの生息数調査 土堀倉庫前集合 9時～16時頃まで
お昼がでます。胴長・手網がある方はご持参ねがいます。
- ★11月～12月 トゲソの新米とサトイモの販売、発送を行います。

- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 中村吉則
事務所 住所 959-1645 五泉市土堀 295 番地 月・水・金 午後在宅
電話 0250-47-4439・FAX 0250-47-4440 メール togeso@jeul.ocn.jp
事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町 2 丁目 8-10-1 中村吉則方
電話・FAX 0250-22-0271 メール togeso@beige.plala.or.jp
- ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>
五泉トゲソの会は Facebook で発信しています。 <https://www.facebook.com/togeso>

— 快適な住まい造りを
お手伝い致します。 —

水洗トイレ

= 給排水工事一式 =

(有) 岩村住設 五泉市大川前
TEL 42-2813

(株) 東新建設

建物基礎・土木工事一式

建築・建設のことなら何でもご相談ください

連絡先 五泉市四ッ屋新 TEL 43-5091

印刷 - その先の可能性を求めて

「時代に対応し常に高品質な製品」をお届けするために
私たちの基本姿勢は変わりません。

阿部印刷株式会社

本社・工場/〒959-1704 新潟県五泉市村松甲 2096 番地
TEL (0250) 58-5115 FAX (0250) 58-5750
他 新潟営業所/津川営業所/阿賀野営業所
E-mail office@ap-create.com

繊維原料

(株) 坂上商店

代表取締役社長 坂上洋司

連絡先 五泉市泉町2 TEL 42-0731

▲法人会員の皆さま、ご支援ありがとうございます。五泉トゲソの会では法人会員となってくださる会社や法人の方を募集しています。個人会員は 9/2 現在 65 名の支援を頂いています。